

# MORI MORI PRESS

2013.5  
vol.24

## 森田としかず(前埼玉県議会議員)

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ  
 広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、埼玉県立熊谷高校、  
 早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、  
 早稲田大学大学院博士課程を経て…  
 28歳・県議選初挑戦(23票差で次点)  
 30歳・訪問介護事業開始 32歳・県議選初当選  
 33歳・介護施設上川原んち開設 36歳・県議選2期目当選  
 38歳・衆議院議員選挙初戦(55,663票で次点)

〒360-0831 熊谷市久保島1003-2  
 tel.048-530-6001 fax.048-530-6002

 mori\_morita  森田俊和

### モリモリプレスとは!?

森田としかずのビジョンや政治に対する思い、地域活動の記録などを皆様にお伝えする広報紙です。

※バックナンバーはホームページからダウンロードしていただけます。



## お金とサービスのやりとり +αの価値



円安で大企業の業績が回復し、株価も上昇し、アベノミクスへの期待が現実のものとなりつつあります。後は、これが一番番心なところですが、成長戦略をどのように実践していけるかということです。日本には自動車、医療、素材、プラントなど、強い分野がたくさんありますので、ぜひ国内外の需要を喚起し、日本経済を成長軌道に乗せていただきたいと期待します。

一方、政治は将来のことも考えなければなりません。先細りをする内需を悲観し、日本のお先は真っ暗だ、ということでは、子どもたちに夢や希望を持ちなさい、といっても土台無理な話です。私は、日本はこれから経済的に成長した先進国として、政治行政のあり方の一つのモデルを示していく使命を帯びていると考えています。

急速な高齢化が課題となっていることは、一つのきっかけとなります。今のままの制度では、社会保障関係の支出が増加し、税金を納める人は減る、ということで、余程消費税でも上げないことには財政が行き詰ま

ります。

そこで登場するのが、第2の人生を送っていらっしゃる地域の方々です。高齢社会になったということは、元気な、能力や技術のある方がたくさんいらっしゃるということです。人件費を払うお金がないからボランティア、という短絡的な利点だけでなく、多くの方々の第2の人生を充実させるために、誰かのために働く機会を作ることにようになります。

「ボラバイト(ボランティア・バイト)」という言葉があります。全くの無給ではなかなか励みにもなりづらいでしょうから、気持ちを金額に表す程度のお支払いをして、働いてもらうということです。医療や介護、保育の現場でも、資格が必要な専門業務以外に、見守りであったり、話し相手であったり、清掃であったり、人手がたくさん必要となっています。また、ちょっとした道路や建物の修繕などは、技能のある方ならば、道具や材料さえあればできてしまいます。

こうした創意工夫は、全国一律ではできません。また、労働基準法をはじめとする法令を変え、地域の事情に応じて、動ける体制を作ることが必要だと私は考えます。



どうなる?  
どうする?



ご意見  
募集中!!

### 憲法改正の是非

参議院選挙の争点の一つとなりそうな憲法改正。安倍総理は、憲法を改正する手続きを定めた第96条を改正し、憲法を改正しやすくするところから始めようという意図を持っているようです。日本国憲法を改正すべきか、せざるべきか?あなたはどうかお考えですか?!ご意見をお聞かせください!

ご意見は  
こちらまで…

✉ mmo@morita-toshikazu.com  
 Fax 048-530-6002  
 Twitter・facebookでもどうぞ!

### 目で見る地域に根ざす活動記録



行田市須加にある  
長光寺にて花祭りに参加

【4月8日】長光寺のご住職は、江戸時代には教育の中心だったお寺が、文化やコミュニティーの核となるべく活動していらっしゃいます。



熊谷市PTA連合会  
新旧会長会議に参加

【5月12日】地元小学校のPTA会長として、参加しました。学校と家庭、地域が一体となり、子供たちのために考え、行動していきます。